(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許山東公開登号 特開2001-144080

(P2001-144080A)

(43)公開日 平成13年5月25日(2001.5.25)

(51) Int.CL' 織別配号		FΙ	FI		テーマコード(参考)	
HO1L 21	/3065	B01J (19/00	K		
B01J 19,	/00	C23C 1	14/58	Z		
C23C 14	/58	G03F	7/42			
G03F 7	/42	COIB	13/10	D		
H01L 21,	/027	HO1L 2	21/302	н		
	a	查請求 有 請求學	貝の数7 OL	(全 6 頁) 最終質に続く	
(21) 山嶼母号 物曜2000 - 247924(P2000 - 24792		31》 (71) 出廣人	000005108			
(62)分割の表示	特額平4-312508の分割		株式会社日立	製作所		
(22)出題日	平成4年11月24日(1992.11.24)		京京都千代田区特田駿河台四丁目 6 番地			
		(72) 発明者	川盗 建一			
			東京都青梅市	瓣梅888 番題	株式会社日立	
			製作所肯梅工	(場内		
		(72) 発明者	恒川 助芳			
			東京都青梅市	聯桶888番 超	株式会社日立	
			製作所肯梅工	場内		
		(74)代理人	100068504			
			弁理士 小川	勝男は	外2名)	
					最終質に続く	

(54) 【発明の名称】 表面処理方法及び表面処理接回

(57)【要約】

【課題】高レベルの金属汚染の発生を防止した表面処理 装置を提供すること。

【解決手段】オゾン発生器1、処理室8、両者の間のガスの配管4、6.7の少なくともガスと接触する部分の構成材料をアルマイト、高純度石英、フェソ樹脂、サファイア及びシリコンカーバイトからなる群から遊ばれた少なくとも一種の材料とするか又はオゾン発生器1に導入される酸素及び窒素を所定の値以下の水分濃度とした表面処理装置。

